



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

六年生

六月 第①週

〈短歌・俳句の世界〉





みなさんにお知らせ

1. 質問があったら、メールをください。すぐお返事します。
 2. 自分が書いた文章を見てもらいたいときはメールで送って
くれば、直して送り返します。
- ❖ メールアドレスは、 Akiko@JPNCClass.com です。
 - ❖ 授業で使ったスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から
印刷やダウンロードができます。



お家の方へ

1. 授業で使う文章を印刷する際、お子さんのお手伝いをお願いします。
 2. ノートは特に規定はありませんが、漢字学習用と国語のノートの2冊を用意してあげてください。
 3. 質問や作文などの添削はメールで随時受け付けています。積極的に送るように、声掛けをお願いします。
- ❖ メールアドレスは、 Akiko@JPNCClass.com です。
 - ❖ 授業で使ったスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から印刷やダウンロードができます。

① 授業で使う文章を印刷してください。



印刷の仕方

1. Webページ <http://JPNCClass.com> へ行きましょう。
2. YouTube授業をクリックしましょう。



JPN Class
Online school - 日本語で学ぼう

お知らせ YouTube 授業 オンライン授業 講演会・セミナー
講師プロフィール ご意見・連絡先

日本語で学ぼう！ 小学生、中学生向けオンライン授業

ようこそ JPN Class へ

JPNClassは、海外に暮らす子どもたちとご家族をサポートする目的で開設されました。子どもたちにオンラインでの国語などの授業を提供します。また、ご家族と海外での日本語教育や子育てについて共に考える講演会やセミナーを開催します。

授業は、オンライン授業（Zoom）、ビデオ（Youtube）を通して提供します。現在お住まいの地域に日本語補習校など日本語を学ぶ学校がない、行く時間がない、あるいは自分のペースで日本語の勉強を進めたいといった子どもたちに最適です。

詳しくは、オンライン授業、YouTube授業、講演会・セミナーのページをご覧ください。



印刷の仕方

3. 小学6年の教科書をクリックしましょう。



トップ [YouTube 授業](#) ▾ オンライン授業 講演会・セミナー 講師プロフィール お知らせ
ご意見・連絡先

日本語で学ぼう！ 小学生、中学生向けオンライン授業

YouTube 授業

小学4年 国語

[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



小学5年 国語

[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



小学6年 国語

[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



中学1年 国語

[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



印刷の仕方

4. 小6国語 6月第1週 〈スライド (PDF)〉をクリックしましょう。

JPN Class
Online school - 日本語で学ぶ

トップ YouTube 授業 オンライン授業 講演会・セミナー 講師プロフィール お問い合わせ

日本語を学ぼう！ 小学生、中学生向けオンライン授業

小学6年国語

YouTube チャンネル小6国語 (チャンネル登録をしよう)

YouTube ビデオ&スライド ライブラリー

6月

小6国語	6月第1週	<YouTube ビデオ>	<スライド (PDF)>
小6国語	6月第2週	<YouTube ビデオ>	<スライド (PDF)>
小6国語	6月第3週	<YouTube ビデオ>	<スライド (PDF)>
小6国語	6月第4週	<YouTube ビデオ>	<スライド (PDF)>

短歌・俳句の世界

短歌と俳句は、どちらも五音と七音の組み合わせによってできる短詩です。遠い昔に生まれて、今もその形が守られ、わたしたちの生活の中に生き続けています。

短歌

岩走る垂水の上のさわらびの萌え出づる春になりけるかも
志貴皇子

*岩走る水が岩に激しくぶつかって、はねかえって、はねる様子。「垂水」に係る。
*さわらびの芽を出したばかりのさわらび。

志貴皇子は、千三百年ほど前の人です。春のおとずれの喜びを、このように表しました。

秋立つ日よめる

秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる
藤原 敏行

*さやかに水はつきりと
*おどろかれぬる水が激しく流れて落ちる音にぞおどろかれます。
*この歌の前には、「秋立つ日よめる」と書かれています。

岩の上を水が激しく流れ落ちるたきのほとりに芽を出しているさわらび。いよいよ春になったんだな。

志貴皇子は、千三百年ほど前の人です。春のおとずれの喜びを、このように表しました。

秋立つ日よめる

秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる
藤原 敏行

*さやかに水はつきりと
*おどろかれぬる水が激しく流れて落ちる音にぞおどろかれます。
*この歌の前には、「秋立つ日よめる」と書かれています。



5. がついているページを印刷しましょう。

②必ず用意してください

- ・国語のノートと漢字ノート
- ・筆記用具（赤ペン、赤えんぴつも必要）

③気をつけること

- ・大事だと思うところはノートに書いてください。

- ・「ビデオを止めてください。」と言われたら、ビデオを止めて、先生の指示にしたがってください。



- ・必要があるときは、ビデオを止めて、もう一度ビデオを見たりしてください。

先週の宿題

1. 漢字

新しい漢字・読み方が新しい漢字の練習をしましょう。

2. 音読

「暮らしの中の言葉」を読みましよう。

3. ことわざと漢字四字の言葉

ことわざと漢字四字の言葉について、意味と使い方
方を復習しましょう

漢字テスト①

読み方をノートに書きましょう。

暮らし

食欲

異口同音

誠心誠意

臨機応変

単純

尊敬

私利私欲

玉石混交



漢字テスト①

読み方をノートに書きましょう。

答え合わせをしましょう。

暮らし

くらし

食欲

しょくよく

異口同音

いくどうおん

誠心誠意

せいしんせい

臨機応変

りんきおうへん

単純

たんじゆん

尊敬

そんけい

私利私欲

しりしよく

玉石混交

ぎよくせきこんこう



漢字テスト②

漢字をノートに書きましよう。

くらし

しよくよく

いくどうおん

せいしんせい

りんきおうへん

たんじゆん

そんけい

しりしよく

ぎよくせきこんこう



漢字テスト②

漢字をノートに書きましょう。

答え合わせをしましょう。

くらし

暮らし

しょくよく

食欲

いくどうおん

異口同音

せいしんせい

誠心誠意

りんきおうへん

臨機応変

たんじゅん

単純

そんけい

尊敬

しりしよく

私利私欲

ぎよくせきこんこう

玉石混交





短歌と俳句は、どちらも五音と七音の組み合わせによってできる短い詩です。遠い昔に生まれて、今もその形が守られ、わたしたちの生活の中に生き続けています。

短歌

岩^{いわばし}走る^{たるみ}垂水の上のさわらびの萌^もえ出^いづる^ず春になり^るにけるかも

志^し貴^{きの} 皇^み子^{この}

*岩走る 水が岩に激しくぶつかって、はねる様子。

「垂水」に係る。

*垂水 落ちてくる水。たき。

*さわらび 芽を出したばかりのわらび。



岩の上を水が激しく流れ落ちるたきのほとりに芽を出しているわらび。いよいよ春になったんだな。

志貴皇子は、千三百年ほど前の人です。春のおとずれの喜びを、このように表しました。

秋立つ日よめる

秋^き来^きぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる

藤^{ふじ}原^{わらの} 敏^{とし}行^{ゆき}

*さやかに はつきりと

*おどろかれぬる 気がつく。おどろいてしまう。

*この歌の前には、「秋立つ日よめる」と書かれている。

こよみの上では今日から秋。辺りを見回しても、秋が来たとははつきり目に見えてわかるものはない。けれども、風の様子は確かに秋のものだ。

藤原敏行は千百年ほど前の人です。

《新しい漢字》

俳^{はい}句

激^{はげ}しい

どちらも、千年以上前の人を作ったものです。しかし、そんな遠い昔の人の作品とは思えません。



前の二首の例で分かるように、短歌は、五・七・五・七・七の三十一音から成ります。奈良時代の「万葉集」、平安時代の「古今和歌集」、鎌倉時代の「新古今和歌集」などには、わたしたちの祖先が作った短歌がたくさん集められています。また、その後も今にいたるまで、短歌は、多くの人々によって作られています。

俳句

五月雨を集めて早し最上川

松尾芭蕉

*最上川は山形県を流れ、日本海に注ぐ川。

ふり続く梅雨の雨をすべて集めて流しているのでしよう。こんなにもたつぷりの水が、勢いよく速く流れています。この最上川は。

菜の花や月は東に日は西に

与謝蕪村

見わたすかぎりの菜の花の花畑。東の空に、白っぽい月がのぼってきました。反対の西の空では、空を真っ赤に染めて太陽がしずもうとしています。

《新しい漢字》
染める





どちらにも江戸時代の俳句です。目の前に、作者が見ている光景が絵のようにかんできませんか。

俳句は、五・七・五の十七音から成ります。ふつう、「季語」という、季節を表す言葉を盛りこむことになっています。俳句は、短歌を祖として生まれ、芭蕉によって芸術として高められました。今も、俳句を作る人は、全国に大勢います。また、最近では、世界で最も短い詩として海外からも注目されています。

次に、現代や近い時代の短歌・俳句を挙げます。声に出してくり返し読み、それぞれの作品のおもしろさや味わいをさぐってみましょう。どの作品が好きですか。

夏のかぜ山よりきたり三百の牧の若馬耳ふかれけり

与謝野 晶子

15

白鳥はかなしからずや空の青海のあをにも染まずだだよ

若山 牧水

みちのくの母のいのちを一目見ん一目見んとぞただにいそげる

斎藤 茂吉

20

街をゆき子供の傍を通る時蜜柑の香せり冬がまた来る

木下 利玄

外にも出よ触るるばかりに春の月

中村 汀女

万緑の中や吾子の齒生え初むる

中村 草田男

赤蜻蛉筑波に雲もなかりけり

正岡 子規

流れ行く大根の葉の早さかな

高浜 虚子



言葉の意味や使い方を確かめましょう。

① ほとり

すぐそば。すぐ近く。特に川やうみなどのそば。

*例文を書きましよう。

湖のほとりでお弁当を食べた。

② 真っ先に

いちばん初めに。最初に、

*正しい使い方はどちらでしよう。

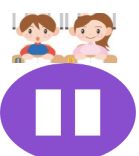
ア 真っ先に手を挙げる

イ 家の真っ先に公園がある。

③ 祖

先祖。または、ある物事を始めた人。

*例 仏教の祖



短歌・俳句の特徴をまとめましよう

短歌・俳句 五音と七音の組み合わせによってできる短い詩。

短歌 千年以上前。

五・七・五・七・七の三十一音。

俳句 五・七・五の十七音。

季語（季節を表す言葉）を盛りこむ。

短歌が祖。

芭蕉によって芸術に高められる。



(1) 短歌と俳句の特徴をまとめましょう。

・ 短歌と俳句は、どちらも五音と七音の組み合わせによってできる短い詩で、短歌は（ ）の（ ）の（ ）音、俳句は（ ）の（ ）の（ ）音から成る

・ 短歌も俳句も、（ ）に生まれて、長い間にわたって、たくさんの人が（ ）や（ ）をよみこんできた。その（ ）は今も守られ、（ ）の中に生き続けている。

・ 俳句は、（ ）を祖として生まれ、江戸時代えどに

（ ）によって芸術として高められた。俳句はふつう、

（ ）という（ ）を表す言葉を盛りこむことになっている。

(2) 次の短歌を説明しましょう。

岩いわ走はしる垂水たるみの上のさわらびの萌もえ出いづる春はるになりなりにけるかも

志貴しきの 皇子みこ

（ ）の上を水が（ ）流れ落ちるたき。そのほとりのわらびが（ ）を出している。（ ）になったのだなあ。

春 秋 岩 芽 激しく ゆるやかに

(3) 次の俳句を説明しましょう。

五月雨さみだれを集めて早もし最上川もがみがわ

松尾まつお 芭蕉ばしやう

降り続く（ ）の雨をすべて集めて流しているのだらう。こんなにも（ ）の水が（ ）はやく流れているよ。この最上川は。

梅雨つゆ たつぷり 勢いきよく ゆつくりと



(3) 次の短歌に当てはまる解説を□から選びましょう。

① 秋来ぬと目にはさやかに見えねども
風の音にぞおどろかれぬる

ふじわらのとしゆき
藤原 敏行

② 夏のかぜ山よりきたり三百の
牧の若馬耳ふかれけり

よさの
与謝野 晶子

③ 白鳥はかなしからずや空の青
海のおをにも染まずだだよ

わかやま
若山 牧水

④ みちのくの母のいのちを一目見ん
一目見んとぞただにいそげる

さいとう
斎藤 茂吉

⑤ 街をゆき子供の傍を通る時
蜜柑の香せり冬がまた来る

きのした
木下 利玄

ア 青空と海を漂う白鳥に、孤独な気持ちを重ねている。
イ 街中でふとただよってきたかおりに冬を感じている。
ウ 夏の牧場の光景を雄大なスケールで歌っている。
エ 目にはつきりと見えない秋のおとずれを、風の音に感じている。
オ ふるさとへ急ぐ作者の、母の死に目に会えるだろうかという不安な気持ちが表れている。

(4) 次の俳句の季語を書きましよう。また表している季節を書きましよう。

① 菜の花や月は東に日は西に

よさ
与謝 蕪村

② 流れ行く大根の葉の早さかな

たかはま
高浜 虚子

③ 万緑の中や吾子の齒生え初むる

なかむら
中村 草田男

④ 赤蜻蛉筑波に雲もなかりけり

さまおか
正岡 子規



- (1) 短歌と俳句の特徴をまとめましょう。
- 短歌と俳句は、どちらも五音と七音の組み合わせによってできる短い詩で、短歌は(五・七・五・七・七)の(三十一)音、俳句は(五・七・五)の(十七)音から成る。
 - 短歌も俳句も、(遠い昔)に生まれて、長い間にわたって、たくさんの方が(喜び)や(悲しみ)をよみこんできた。その(形)は今も守られ、(わたしたちの生活)の中に生き続けています。
 - 俳句は、(短歌)を祖として生まれ、江戸時代えどに(松尾芭蕉)によって芸術として高められた。俳句はふつう、(季語)という(季節)を表す言葉を盛りこむことになっている。

(2) 次の短歌を説明しましょう。

岩いわ走る垂水たるとみの上のさわらびの萌もえ出いづる春はるになりなりにけるかも

志貴しきの 皇子みこ

(岩)の上を水が(激しく)流れ落ちるたき。そのほとりのわらびが(芽)を出している。(春)になったのだなあ。

春 秋 岩 芽 激しく ゆるやかに

(3) 次の俳句を説明しましょう。

五月雨さみだれを集めて早もし最上川もがみがわ

松尾まつお 芭蕉ばしやう

降り続く(梅雨)の雨をすべて集めて流しているのだらう。こんなにも(たつぷり)の水が(勢いよく)はやく流れているよ。この最上川は。

梅雨つゆ たつぷり 勢いよく ゆっくりと



(3) 次の短歌に当てはまる解説を□から選びましょう。

① 秋来ぬと目にはさやかに見えねども
風の音にぞおどろかれぬる

ふじわらのとしゆき
藤原 敏行

② 夏のかぜ山よりきたり三百の

牧の若馬耳ふかれけり

(エ)
与謝野 晶子

③ 白鳥はかなしからずや空の青

海のおをにも染まずだだよふ

(ウ)
わかやま
若山 牧水

④ みちのくの母のいのちを一目見ん

一目見んとぞただにいそげる

(ア)
さいとう
斎藤 茂吉

⑤ 街をゆき子供どもの傍そばを通る時

蜜柑みかんの香かせり冬がまた来る

(オ)
きのした
木下 利玄

ア 青空と海を漂う白鳥に、孤独な気持ちを重ねている。
イ 街中でふとただよってきたかおりに冬を感じている。
ウ 夏の牧場の光景を雄大なスケールで歌っている。
エ 目にはつきりと見えない秋のおとずれを、風の音に感じている。
オ ふるさとへ急ぐ作者の、母の死に目に会えるだろうかという不安な気持ちが表れている。

(4) 次の俳句の季語を書きましよう。また表している季節を書きましよう。

① 菜の花や月は東に日は西に

(菜の花) (春)

与謝 蕪村

② 流れ行く大根の葉の早さかな

(大根) (冬)

たかはま
高浜 虚子

③ 万緑の中や吾子の歯生え初むる

(万緑) (夏)

なかむら
中村 草田男

④ 赤蜻蛉筑波に雲もなかりけり

(赤蜻蛉) (秋)

さまおか
正岡 子規



新しい漢字・復習の漢字

読み方をノートに書きましょう。

俳句

激しい

染める

文化財

復旧工事

改築

規則

肥料

混雑

防災

設置



新しい漢字・復習の漢字 読み方をノートに書きましょう。

答え合わせをしましょう。

俳句

はいく

激しい

はげしい

染める

そめる

文化財

ぶんかざい

復旧工事

ふっきゆうこうじ

改築

かいちく

規則

きそく

肥料

ひりょう

混雑

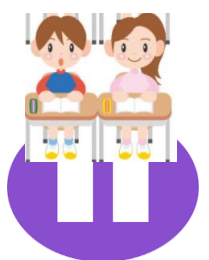
こんざつ

防災

ぼうさい

設置

せっち



宿題

次回の授業までにやる勉強です。

必ずやりましょう。

1. 漢字

新しい漢字・小五の復習の漢字の練習をしましょう。

2. 音読

「短歌・俳句の世界」を読みましょう。

3. 短歌と俳句の特徴

ノートにまとめた「短歌・俳句の特徴をまとめましょう」を参考に、学習しましょう。

4. 「短歌・俳句の世界 まとめの問題」の復習をしましょう。



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

六年生

年間学習表



8月 (夏休み=授業は3回)	7月 (夏休み=授業は3回)	6月	5月	4月	
		<p>討論会のをしよう 討論会の流れと進め 方を学習しよう。</p>			<p>話す／聞く 1年間の学習を通して 先生の話聞き、学 習を進めよう。</p>
<p>本は友達 自分の好きな本を紹 介しよう。</p>	<p>森へ 「森へ」を読んで、 どんなことを考えた か、テーマを決めて 書こう。</p>	<p>ガイドブックを作る う 読み手に必要な情報、 自分が伝えたいこと をふまえて、文章を 書こう。</p>	<p>生き物はつながりの 中に 文章全体を短くまと めよう。(要約しよ う。)</p>	<p>カレライス 主人公と似た経験に ついて書こう。</p>	<p>書く 新聞記事 記事の要約をし、記 事に対する自分の意 見を書こう。</p>
<p>船りんご 詩の言葉に現れた筆 者の気持ちを読み取 ろう。</p>	<p>森へ 情景を想像しながら 読んで、森のイメー ジを豊かに伝える効 果的な表現を味わお う。</p>	<p>短歌・俳句の世界 短歌や俳句を読んで、 リズムや言葉の美し さを感じよう。</p>	<p>生き物はつながりの 中に 筆者が文章を通して 一番言いたいことは 何か考えよう。</p>	<p>カレライス 主人公の気持ちを考 え、自分と重ね合わ せて読んでみよう。</p>	<p>読む 新聞記事 記事の内容を読み取 ろう。</p>
<p>同じ訓を持つ漢字 同じ訓を持つ漢字そ れぞれの意味と使い 方を知ろう。</p>			<p>暮らしの中の言葉 ことわざや漢字四字 の言葉の、意味や使 い方を理解しよう。</p>	<p>漢字の形と音・意味 漢字の音を表す部分、 意味を表す部分を知 り、漢字の組み立て を理解しよう。</p>	<p>言葉</p>

1月 (冬休み=授業は3回)	12月 (冬休み=授業は3回)	11月	10月	9月	
今、わたしは、ぼくは 自分の思いが伝わる ような表現を身に付 けよう。	自分の考えを発信し よう 自分の考えをイン ターネットを使って、 友だちに発信しよう。			みんなで生きる町 調べたことや考えた ことを分かりやすく 伝えよう。	話す／聞く
感動を言葉に 見たり感じたりした ことをもとに、心の つぶやきを言葉にし よう。	自分の考えを発信し よう 「平和」に関する資 料を通じて、自分の 考えを書こう。	イートハーヴの夢 宮沢賢治の考えにつ いて分かったこと、 思ったことを書こう。	やまなし この作品を読んで 思ったことを、自分 なりにまとめてみよ う。	みんなで生きる町 調べたことをもとに、 提案書を作ろう。	書く
	平和のとりでを築く 文の書き方の特徴に 気をつけて、筆者の 考えを読み取ろう。	イートハーヴの夢 宮沢賢治の考え方や 生き方を読み取ろう。	やまなし 独特な言葉や表現を 味わおう。情景を想 像しながら読んで、 作品の特徴を考えよ う。	みんなで生きる町 だれもが暮らしやす くするにはどうした らいいか考えよう。	読む
漢字クイズ 小学校で習った漢字 を、正しく理解して いるか確かめよう。	インターネットと学 習 インターネットを学 習に役立てるために、 注意することを確か めよう。	覚えておきたい言葉 教科や社会生活の中 で使われる言葉の意 味を理解しよう。	熟語の成り立ち 漢字二字・三字・四 字以上の熟語につい て理解を深めよう。	日本で使う文字 平仮名と片仮名の由 来を知ろう。ローマ 字とのかかわりを知 ろう。	言葉

	3月	2月	
			話す／聞く
	<p>今、君たちに伝えたいこと 筆者が伝えたいことをまとめ、俺に対する自分の考えを書こう。</p> <p>生きる 「生きる」の形をまねて、詩を創ってみよう。</p>	<p>わたしたちの言葉 いろいろなあいさつについてまとめてみよう。</p>	書く
	<p>今、君たちに伝えたいこと 筆者が経験をとおして子どもたちにつたえたいメッセージを読み取ろう。</p> <p>生きる それぞれの連に注意しながら、作者の考える「生きる」を読み取ろう。</p>	<p>海の命 周りの人々とのかわりの中で成長していく主人公の姿を読み取ろう。登場人物の言動から生き方や考え方を読み取ろう。</p> <p>言葉の橋 詩を味わい、心を伝える言葉の働きについて筆者の考えを読みとろう。</p>	読む
<p>六年生の漢字 六年生で習った漢字の復習をしよう。</p>			言葉



JPN Class

Online school – 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校六年生

六月 第①週

「いいね」

「チャンネル登録」

してください！

また来週。

